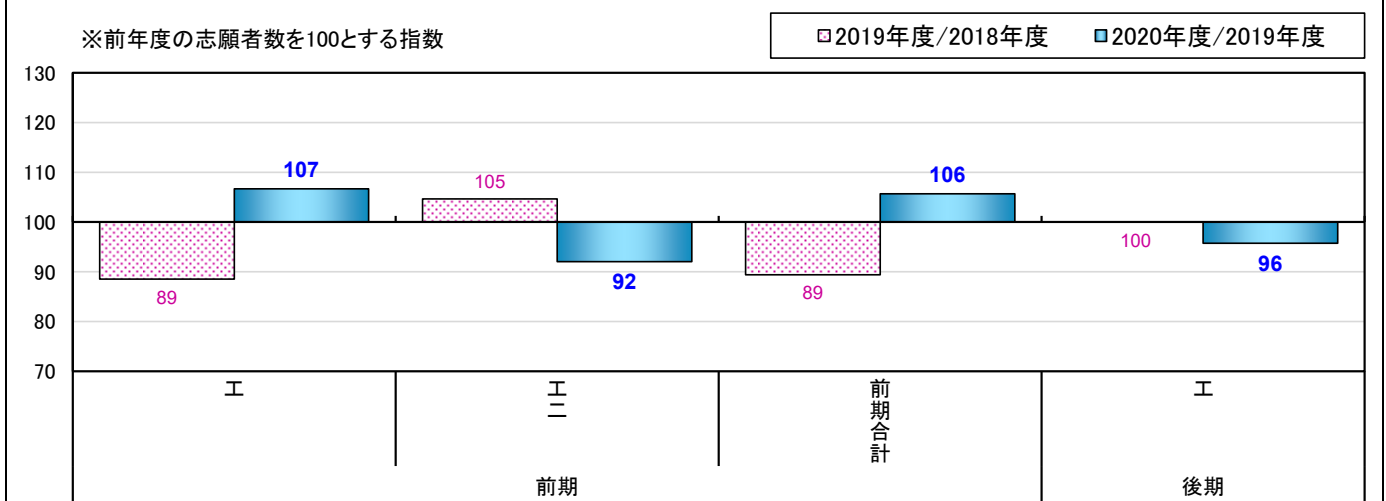


## 2020 年度入試状況分析【国公立大】

名古屋工業大：前期はやや増加、後期はやや減少と対照的

前期：+99 人 後期：-95 人



**COMMENT** ※ ( ) 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は99人(106)のやや増加。工のみでは107人(108)の増加。大学全体および工は、2014年度以降、前年度の反動による増減が続いている。後期は工のみの募集で、95人(96)のやや減少。

<前期日程>

○工(108)は、前年度減少の反動で増加。学科・コース・分野別(以下、「募集単位別」)では、9募集単位中5募集単位が増加と増減はほぼ半々に分かれた。増加した募集単位では4募集単位が20%以上増加の大幅増加、特に(生命・応用化学)(130)が最も増加率が大きかった。一方で、減少した募集単位にはいずれも大幅減少で、(社会工/環境都市)(40)、(創造工学/材料・エネルギー)(49)の2募集単位は半減以上の減少。

<後期日程>

○工(96)は、やや減少。学科・コース・分野別(以下、「募集単位別」)では、9募集単位中2募集単位のみが増加と減少が目立った。増加した募集単位では、(生命・応用化学)(123)が前年度大幅減少の反動で大幅増加、一方で減少した募集単位は7募集単位中5募集単位が10%未満の減少率だったが、(社会工/環境都市)(56)、(物理工)(72)の2募集単位は大幅減少。